

魚津水族館で24年ぶりにみられたゴマフアザラシの繁殖

泉 拓朗・齋藤 真里・草間 啓・稲村 修（魚津水族館）

The first breeding in 24 years of Spotted seal at Uozu aquarium

Takuro IZUMI Mari SAITO Satoshi KUSAMA Osamu INAMURA

Uozu Aquarium

はじめに

ゴマフアザラシ *Phoca largha* はアザラシ科に属する海棲哺乳類で、ベーリング海とオホーツク海を中心に、チュクチ海、日本海北部、ピョートル大帝湾、渤海-黄海に分布する（和田・伊藤，1999）。

魚津水族館では1983年より本種を飼育しており、2014年までの31年間に出産は6例あったが、繁殖に成功したのはそのうちの2例のみである。失敗の原因は、出産間近に母獣を隔離したことで落ち着かず激しく動き回った衝撃によると考えられる胎児の死亡（2例）と、同居個体の干渉によると考えられる子獣の溺死（2例）であった。子獣の溺死は、2例とも観察者が不在の夜間出産時に発生した。福島・稲村

（2011）は、出産予定日が近づくと職員が24時間観察を行うことや出産後に母獣と子獣を一緒に隔離することで、子獣の溺死や他個体からの攻撃による事故死などを防ぐ必要があるとしていた。

そこで2015年は、飼育員による夜間行動観察を取り入れるとともに、出産前の母獣隔離は行わなかった。さらに、子獣の溺死対策として、プールの水位を高くしてステ

ージとの段差をなくす対策も行った。その結果、魚津水族館では24年ぶりとなる繁殖に成功したので、一連の経緯を記す。

飼育施設

飼育施設は屋外にあり、通常は来館者が館内側・館外側の両方から観察できる。飼育施設の総面積は約74㎡で、大プール（容積約28m³）と大ステージ（面積約18.5㎡）および小プール（容積約12m³）と小ステージ（面積約2.4㎡）がある。繁殖時などには、大ステージと大プールの間、および大・小プール間をアルミ製の柵（以下「柵」と略記）やベニヤ板を設置することで、飼育施設を分けることができる。さらに、必要に応じて観察小屋、特設プールおよび各水槽用のスロープを設置することができる（図1）。

飼育個体

○母獣：まちこ，国内血統登録番号1034
年齢：7歳

2度の出産経歴有り（子獣の溺死1例：2013年，死産1例：2014年）

○父獣：クウ，国内血統登録番号948
年齢：10歳

○同居雌：ミミ，国内血統登録番号 051

年齢：34 歳

経 過

【2014 年】

4 月 10 日：交尾を確認。飼育下におけるゴマフアザラシの妊娠期間は 337～388 日と報告されている（日動水，2014）。また，母獣（まちこ）の過去の見かけ上の妊娠期間が 365 日（2013 年）と 340 日（2014 年）であったことから，今回の出産予定日を 2015 年 3 月中旬と定めた。

（その後，出産予定日に合わせて，事前に特設プールの設置やプールの水位変更などの計画を立て，対応を行った。）

12 月 2 日：出産後の母獣と子獣を大ステージで隔離飼育するのに備えて，大ステージに FRP 製の特設プールを設置。

【2015 年】

2 月 3 日：子獣が入水できるように，特設プールにスロープ設置。

2 月 16 日：母獣へのストレス軽減のため，館外側（図 1）に目隠し設置。

2 月 19 日：3 月 12 日からの夜間行動観察に備え，照明に慣れさせるために大ステージ上部の蛍光灯照明の夜間点灯を開始。

2 月 26 日：子獣の溺死対策として，プールのオーバーフロー管に L 字塩ビ管を継ぎ足して水位を上昇させ，ステージとの約 7 cm の段差をなくした（写真 1，2）。写真の黒い線は，ステージ面と水面を表している。

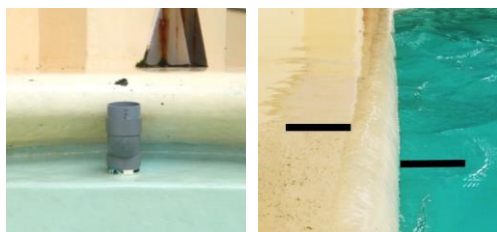


写真 1 水位変更前

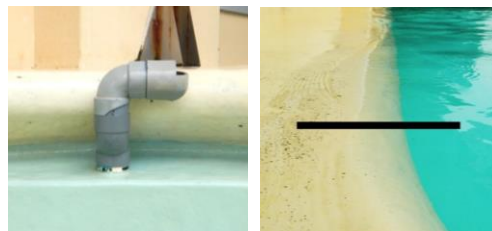


写真 2 水位変更後

3 月 12 日：飼育員による夜間行動観察を開始した。夜間観察中，父獣が母獣を執拗に追い回す行動が頻繁に確認されたので，父獣を隔離することにした。

3 月 18 日：大・小プール間を柵で仕切り，父獣を小プールへ隔離した。出産場所が大ステージになると予測し，館内の大ステージ側に観察小屋を設置。

3 月 19 日：21 時 41 分に大ステージで出産。出産直後の子獣は，体長 80cm，体重 6.5kg であった（写真 3）。



写真 3 生後 1 日齢の子獣

3 月 20 日：0 時 11 分に初授乳を確認。その後，22 時 34 分から翌日 7 時 12 分までに子獣は 4 回プールに落水するが自力で上陸した。

3 月 20 日：9 時 7 分に大ステージと大プールの間を柵で仕切り，母獣と子獣を大ステージへ隔離（写真 4）。



写真4 隔離した母獣と子獣

- 4月6日：子獣の換毛開始（18日齢）．
4月11日：母獣が子獣に威嚇するような行動をとったので離乳と判断し，母獣と子獣を分けて飼育（23日齢）．
（母獣は，大・小プール間を柵で仕切り，小プールへ隔離し，子獣は大ステージと大プールの間をベニヤ板で仕切り，大ステージへ隔離した．）
4月14日：子獣の換毛終了（26日齢）．換毛期間は7日間．
4月17日：初摂餌を確認（29日齢）．特設プール内にまいたサバの切り身を摂餌．
4月23日：初めて飼育員の手から摂餌する（35日齢）．
【2016年】
3月19日：サバ・ホッケ・イカナゴを摂餌し，順調に成長（1歳齢）．

考 察

今回の繁殖の成功要因として，出産前に母獣を隔離しなかったことや，飼育員による夜間行動観察によって，父獣が母獣を追い回す行動を発見し，すみやかに父獣を隔

離したことによって母獣へかかるストレスの軽減につながり，落ち着いて出産ができたことが考えられた．また，子獣が落水しても自力で這い上がったことから，子獣の溺死対策としてプールの水位を高くし，ステージとの段差をなくしたことも有効であった．

さらに，出産後に母獣と子獣と一緒に隔離したことで，安定した育児ができたと思われる．

今後，今回の対策を活用し，計画的に繁殖を行っていきたい．

引用文献

- 和田一雄・伊藤徹魯．1999．鰭脚類アシカ・アザラシの自然史 初版．東京大学出版会．35．
福島千鶴・稲村修．2011．飼育下におけるゴマフアザラシの死産について．魚津水族館年報 第22号．21-23．
日本動物園水族館協会．2014．ゴマフアザラシ繁殖マニュアル．7．

謝 辞

ゴマフアザラシの治療及び健康管理にあたり，平素より多大なる尽力をいただいている魚津市農林水産課家畜診療所の谷ロー人獣医師を始め，ご助言をいただいた動物園および水族館のアザラシを担当されている方々に，謝意を表します．

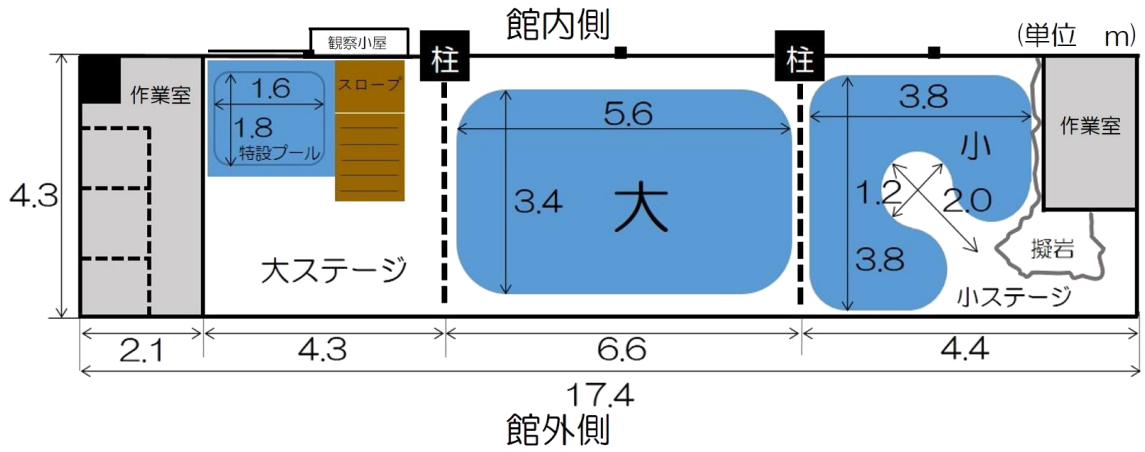


図1 飼育施設全体

魚津水族博物館年報 第26号
 ANNUAL REPORT OF UOZU AQUARIUM No. 26

2017年3月発行

編集・発行/魚津水族博物館
 〒937-0857 魚津市三ヶ1390
 TEL (0765) 24-4100
 FAX (0765) 24-4128

印刷/新誠堂
 〒937-0066 魚津市北鬼江1-2-27
 TEL (0765) 22-4014
 FAX (0765) 22-4005